

# 東大校友会ニュース

March 2020

U T o k y o  
A l u m n i  
A s s o c i a t i o n  
N e w s

no. 38

## *contents*

- 2 | 多様な価値観、生き方を受容する社会を目指して  
—大学は今・サークル事情・ある卒業生の場合—
- 8 | 東京大学ビジョン2020と卒業生活動
- 10 | 東京大学を支える東京大学とつながる
- 12 | 同窓会活動・設立レポート
- 14 | 2019 東大Award
- 16 | 2019 東大Sport Award
- 18 | ご寄附に関心のある方へ

## 現役女子学生が考える 女子2割の壁、 そのfactとは

2018年度、男女共同参画室では  
全女子学部学生を対象にアンケートを  
実施しました。

「女子学生が増加しない理由」

「東大がとるべき対策」について、  
当事者である彼女たちは  
どう考えているのでしょうか。  
いくつかの声をピックアップしました。

### 性役割、

女子には学歴不要・  
社会進出不要の風潮

### 東京での 生活への不安。

生活費が高い。

男子に比べて  
子供の頃から  
期待もされて  
いないため  
激励がなく

卒後の進路の  
メリット・  
魅力が不明

## 女子学生が増加しない

### と思う理由は

### 何だと考えますか？

男子中心組織への不安、  
マイノリティとなること  
の不利

東大生=変人  
という偏見があるから

理系の女子が  
少ない

入学後の サポート体制  
への不安があるのでは

情報不足、東大の  
魅力が伝わっていない

# 多様な価値観、 社会を目指して

本来、国籍、性別（男女だけではなく性の多様性）、障がい、信条、年齢などにかかわらず、誰もが、尊厳と多様な価値観や生き方を尊重されなくてはならないはずで

そのためには教育や文化を通し、各自の個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

一方、環境や教育によって生まれた観念からバイアスが生じ、誤解や偏見が存在することも事実です。昨今キャンパスで挙がった声や動きと、ある卒業生の姿を紹介します。

東大の学部学生の女子比率は20%の枠をなかなか超えられずにいます。問題意識をもとに活動する学生さんと「女子2割の壁」をテーマに座談会を開催。「学内広報1529」よりダイジェストでお届けします。ファシリテーターを務めたのは、男女共同参画室進学促進部会長の高橋美保先生です（参加者の肩書きは当時のもの）。

### 入学式祝辞を機に 女子2割特集を企画

**徳永** biscUiT（ビスケット）というサークルで年2回刊のフリーペーパーを編集しています。東大のマイノリティである女子の居場所になりたい、女友達と話しているような雑誌を作ろう、という趣旨で2011年から活動してきました。2019年の入学式の上野千鶴子先生の祝辞で女子2割の壁への関心が高まっていたので、女子学生の立場からこの問題を考えていると思って特集を組みました。biscUiTに入った理由は、私自身東大内で女友達を増やすのは難しいなと感じてたから。クラスの女子は28人中5人でしたから、何もしなければ4人しか女友達ができないんですよ。

**山田** 僕は東大の男女比率を改善するため、東大女子の魅力発信をテーマに、女子高生向けオリエンテーションツアー、SNS発信、イベントなどを行っているサークル代表です。昨年の駒場祭では、卒業生を6人呼んで「東大女子に聞く！大学選択」をテーマに講演会・座談会を行いました。高校生が東大に行きたいと言っても保護者や高校の先生に止められると難しいですから、周りの大人の考えが変わらないと東大女子の増加にはつながらないと思います。女子2割の問題に女子だけ

が取り組むのは得策じゃないし、男子も当事者意識を持つべきです。

僕の家は父と母が別姓でした。自分では自然でしたが、大きくなって世間ではそうではないと気づきました。結婚して夫の姓にする人が9割以上いることに格差の芽が潜んでいる、と考えていました。東大に来て今のサークルを知り、入部しました。夫婦別姓と女子2割の背景は似ていると思います。女子に学歴などいらぬという通念が残る男性優位の社会であることです。そこが変われば制度的にも現実的にも男女の偏りがなくなったほうが日本経済の復活にもつながるはずで

**武** 女子2割の問題に関心があり、何とかしたいと思ってきました。都心の高校の出身ですが、入学してショックを受けました。私は初日から周りに高校時代の友達がいる、たとえば健康診断に連れ立って行く人もいましたが、地方から来た人は一人。その状況を見て、私のほうが異常かもしれない、と気づいたんです。もう一つは女子の少なさ。教室に女子は私だけということがよくあり、東大は何かおかしいぞと感じました。両者が重なって、地方出身の女子に注目した感じです。私は女子に東大に来てほしいというよりは、自分が好きな大学だから来てほしい。

### 「一番」のブランドが壁になる？

**高橋** 東大が一番だから入ろうという打ち出し方は、地方女子の受験に影響するでしょうか。

**徳永** 私は福岡出身ですが、福岡だと京大志望のほうが多いですね。距離の遠さのほか、東大が一番というブランドが壁にな

# 生き方を受容する

参加者



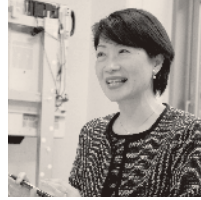
**徳永紗彩さん**  
バスケット代表  
文科二類2年



**武沙佑美さん**  
男女共同参画室ライター  
教養学部3年



**山田硯人さん**  
旧東大女子キャン運営委員  
会代表  
文科三類2年



**高橋美保さん**  
教育学研究科教授  
男女共同参画室進学促進  
部会長

っていると思います。多くの女子は東大が視野に入っていない。自分が目指すような大学ではないという感覚がありました。高校受験のとき、仲がよかった塾の先生に、このままがんばれば東大にも行けると言われて、東大が視野に入ったんですね。東大に進んだ先輩が一人いて、同じ環境ですごした人が行けるなら自分も行けるかも、と思いました。

**山田** 僕も地方出身ですが、地方女子が東大を目指さない背景には、身近に東大女子がないことがあります。テレビを通した東大生像じゃなく飾らない普段の姿を知れば目指す気になると思うので、サークル活動では東大女子の身近な姿の発信に重点を置いています。

## 憧れの対象の多様性を広く伝えたい

**高橋** 「一番」以外の東大の魅力は何だと思いますか？

**武** 一学生として推したいのは、人ですね。尊敬できる人、刺激をもたらす人の割合が、東大は高いと思います。東大に行くことで様々な道が拓けるはずですから、実はこんなところでもあんなところでも卒業生が活躍している、と伝えることが価値を高めるのでは？

**高橋** 憧れの対象の多様性、キャリアの幅広さを伝えられるといいかもしれません。

**武** 授業の幅広さも魅力です。1年生から作曲や能や演劇まで学べる授業があることはもっと伝えるべきだと思います。

**徳永** 女子2割の何が問題なのかを、社会的意義からではなく学生の側から伝えたいです。女子比率向上のための施策についてアンケートで聞くと、女子寮の建設が一番求められていました。単純に寮が充実していれば地

方の子も安心して東京に来ると思います。アンケートでは、なぜ2割じゃダメなのかという意見も見られました。平等に行われている入試の結果が2割なのだから別に問題はないという意見です。これはすごく怖いと思います。その結果に至った背景、受験までにある何枚もの壁が意識されてほしいです。

## 壁の枚数の男女差に男が気づくべき

**山田** 完全に同意です。突破すべき壁の枚数が男女で違うことに、女子は何枚もの壁を突破して東大に来ていることに、男子学生は気づくべきです。まずは東大内で問題意識を掘り起こし、それを社会全体に広げていけるといいのですが。

**武** 東大に地方出身や女子の学生を増やす策としては、学生が学外の友達や後輩などに、東大のいいところ、面白いところを話して伝えることも大切だと思います。東大生が東大の魅力を体現するという事です。

**高橋** 教育でその力を高めたいですね。各々の立場で違う特徴を発揮しながら、同じベクトルを持って活動していることがわかって、うれしいです。今日の出会いが壁を崩す端緒になるといいですね。



駒場祭明けの11月25日、  
教養学部アドミニストレー  
ション棟1階会議室にて。

現役  
女子学生の  
露出を増やす

高学歴女子、  
卒業生に関する  
情報提供

設備の整備  
(トイレ・更衣室・休憩室・  
空調・ロッカー・学食など)

女子に  
疎外感を  
感じさせない

男女別の  
定員制を導入

女子学生増加に向けて

東大が取るべき対策は

何でしょうか？

なぜ  
女子学生を  
増やすのか？

高校の教師・  
保護者への  
情報提供

東大の責任  
ではなく国の課題

東大生が  
特別な存在ではない  
ことをアピール

受験での女子への  
特別待遇は不要

# ダイバーシティー時代のサークル活動

【教養学部報】第613号より転載



**太田邦史** *Obita Kunifumi*

太田邦史 総合文化研究科長／教養学部長

**東** 大生にとって教養学部の期間は、サークル活動や部活などにおける人的な交流を通じて、勉強や研究活動だけでは得られない社会的経験を積む大切な時期でもあると思います。私が教養学部生の時にも、サークルの運営に関わりました。その際、人との交流やリーダーシップのあり方、組織運営のやり方などについて、いろいろな貴重な経験をすることができました。したがって、サークル活動・部活は、大学の課外活動ではありますが、教育的にも重要な意義があると考えています。

今回、皆さんに考えて頂きたいことは、本学女子学生の参加を明示的に拒絶しているサークルの存在に

ついてです。かねてから、これらのサークルの方針について大学側が改善するように意見を述べておりますが、依然として対応がなされていない状況に、本学の理事や教養学部・学部長室は残念に思っている状況です。

サークル活動は本学が公認しているわけでもなく、学生によって自主的に行われている活動ですので、大学側がとやかくいう筋合いはないという意見もあります。しかしながら、サークル名に「東大」が入っていたり、新入生勧誘の活動に大学が便宜（立て看板、教室・施設の使用など）を図っていたりしますので、やはり大学の方針に沿った活動をして頂くことが原則となります。

一番問題になっているのが、学生がとりまとめ、発行している新入生向けの『槌音』に掲載されているサークル紹介コーナーです。ほとんどのサークルに関しては、東大生であれば男女関係なく入会できるような内容が記載されています。ところが、一部のインカレ・サークル（テニスなどの運動系サークルが多いようです）では、「メンバーが『東大と女子大』から構成されている」と書かれています。なかには、「男子は東京大学、女子は〇〇女子大」と明示的に東大女子学生の参加を拒絶しているものすらあります。

聞くところによりますと、このような記述は、相当前から続いているようです。本学の女子学生にとっては、なぜ自分たちだけが排除されるのか、全く理解できないことでしょう。また、PEAK生など海外から来られた女子学生の意見では、日本を代表する大学で未だにこのような差別があることに驚きを感じるという意見もありました。このような運営方針がずっと維持されている背景には、本学の男子学生に東京大学と他大学の女子学生を差別する考えがあるのではないかの疑念を持っています。本件は、性別による差別を禁止した「東大憲章」の前文に明らかに反しています。上野千鶴子東大名誉教授がこの四月に本学の学部入學式



教養学部キャンパスの門扉。旧制第一高等学校（一高）の校章であるオリーブ（橄欖）と柏の葉を意匠とした。橄欖は、学問、平和、道徳の女神であるミネルヴァ（アテネ）をシンボライズした「知恵の実」であり、柏の葉は、ギリシア・ローマ神話に登場する武神マルスの象徴。「柏と橄欖」は「文武両道」の象徴である。

多様な価値観、

生き方を  
受容する

社会を目指して

で行ったスピーチでも、隠れた差別の事例として取り上げられました。

今日、政府や企業などでは男女が共同で社会に参画することの重要性が強調されています。2019年5月には、「女性活躍推進法」が国会で成立したほか、経済界が自主的に女性役員比率を30パーセントまで引き上げようという「30%クラブジャパン」という取り組みも始まっています。本学の五神総長もそのメンバーの一員です。このような時代を迎えているわけですから、本学の女子学生は将来我が国のリーダーとなることが期待されているのです。しかし、本学に入学直後にこのような前時代的な差別に直面してしまうわけで、教員としてとても残念に感じます。また、才能豊かな本学女子学生を排除することに何の問題も感じない本学男子学生が、将来社会でリーダーシップを取ることに、大変心配に感じてしまいます。

本学や教養学部では、持続可能な開発目標(SDGs)に対する取り組みを推進していますが、その中でもジェンダー差別の解消は重要な課題になっています。ご存じの通り、差別的運用を公然と表明するような組織は、現在の社会常識において、昨今相当に問題視される状況になっています。すでに男女共同参画担当の理事から、対応を改めるよう意見書が出されています。それでも全く改善が見られないため、東大女子を排除する活動をするサークルには、本学での活動に関する便宜（本学で勧誘活動をすることや、東大の名称の利用）を一切認めるべきでないという強い対応を求める教員も出てきています。場合によっては、本学の方針に反する運営を行っているサークルについて、その名称をウェブサイトで公開するなどの対応も考えざるを得ません。そのような状況になる前に、該当するサークルにおいては、ぜひ部員で時間を取ってこのことを真剣に討議し、ぜひ自主的に運営方針（具体的には『植音』における部員構成に関する記述など）の見直しを行ってほしいと思います。

## 東大女子お断りの サークルに告ぐ



新入生歓迎行事の全体的な企画・指導・調整をしている学生自治団体「東大教養学部オリエンテーション委員会」は、予めから指摘されていた本学の女子学生が性別を理由に入会を断られている事例について、「看過できるものではありません」「差別活動を認めない」として「規則に同意した団体のみが活動できる」旨の追加規則を発表しました。

昨年度以前のテント列やサークルオリエンテーションにおいて、毎年のように、本学の女子新入生が性別を理由に入会を断られるといった事例が報告されています。正当な基準なく特定の大学を対象に性別のみに基づいて入会を規制することは、純然たる差別行為であり、新入生に不快な思いを与えます。このような新入生の不利益になり得る行為は、新入生に対して選択肢が開かれた自由な団体選びを提供することを目指すオリエンテーション委員会として、看過できるものではありません。

よって、2020年度オリエンテーション諸活動において上記のような差別行為を認めないこととしました。この規則に同意した団体のみがオリエンテーション諸活動に参加できます。これは、2019年度までの新歓方法や団体の性質を問うものではなく、あくまで2020年度オリエンテーション諸活動における差別行為を規制するものです。

オリエンテーション委員会は今後も全ての団体と新入生に対して公平かつ中立な存在として、本学の学生による自主的で活発な活動、ひいては学生文化全体のさらなる発展の一助となるべく尽力していく所存です。皆さまには、団体の活動のあり方を見つめ直す良い機会として、今年度のオリエンテーション諸活動を活用していただきたく存じます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。（「今年度新たに追加される規則について」2020年1月26日付け）

多様な価値観、

生き方を  
受容する

社会を目指して

## 葛藤—私の場合



**松岡玲音** *Mitsuoka Rain*

2014年薬学部卒

**現**在、私は株式会社メルカリで、「松岡玲音」という一人のエンジニアとして雇用されて働いております。この名前は実は偽名で、女性として社会生活を送るために作ったものです。会社の名刺にもこの名前が記載されており、女性としての性表現(姿格好)をして職場に通っております。一方、自身の性自認(心の性)はどうかや男性女性どちらもあるようです。また、性的対象(恋愛対象)も男性女性両方に向いています。なので、私はトランスジェンダーMtX(Male to X-gender)かつバイセクシャル、と表現されるのかと思います。

今でこそ自分の性に関してオープンに打ち明け、辛い恋人にも恵まれ、周囲の友人や両親からの理解も得られて大変幸せに過ごせていますが、自身の性別違和に気がついた当初は地獄のような日々でした。中学1年生の頃のことです。ふとした折に、強烈な自分の体への違和感と、女性の体への憧れを感じたのです。当時はまだトランスジェンダーという言葉も知られておらず、

テレビではいわゆるオネエ系のタレントがいじられの対象として取り上げられていました。そして、その一方で恋愛対象は当時女性に向いていたため、自分は異常者なのではないかと感じていました。その気づきは思春期の私にはあまりに重く、何度も自殺を考えました。

現実の生活と折り合いをつけるべく、女性性への憧れを抑圧することでなんとか生きていました。羞恥心の強さの方が優ってしまい、正直に生きる勇気が持てないでいたのです。大学を卒業するまで、自分の性に関して誰にも打ち明けることはありませんでした。

アメリカの大学院に進学したとき、変化が訪れました。両親の元を離れ、よく知った友人たちも周りにいない、完全に新しい環境に移ったこと。また、性に関してオープンで、身近に自分のような人がいたりしたこと。これら環境の変化を受けて、徐々に自分の行動を変えていけたのです。周りの本当に親しい友人から少しずつカミングアウトし、自分の望む性表現へと少しずつ近づけていきました。

日本に帰国してから以前の友人たちにもカミングアウトし、非常に驚かれたのを覚えています。しかし、彼らはすぐに私の今のあり様を受け入れてくれて、「松岡玲音」として扱ってくれました。最初こそ拒絶されましたが、最終的に両親にも理解してもらえました。私は自分の性に関して完全にオープンに話すようにしています。一般的な知識に頼らずに、私自身を知ってもらいたいと、自分のことについて全て話すようになりました。

一人の人間としての「私」に向き合ってくれる友人や両親に恵まれたこと。また、その私の性をただの個性として扱い、純粋にエンジニアとしての資質で評価してくれる今の会社に入れたこと。今の自分が自分らしくいられるのは、そういった優しい世界に囲まれているからだと強く実感しています。今の日本では少しずつ性的マイノリティへの認知も増え、以前よりは格段に過ごしやすくなっているかと思います。しかし一方でまだ制度的に追いついていない部分も多々あります。この日本が、より多くの人にとって自分らしく生きやすい国となっていくことを切に祈っております。

# 東京大学ビジョン2020と卒業生活動

## 中間報告と今後

2015年4月に発足した五神真総長新執行体制は、同年10月に「東京大学ビジョン2020」を発表、新たな価値創造に挑む「知のプロフェッショナル」の育成、卓越性と多様性の相互連関を通じた「知の協創の世界拠点」の構築などを基本理念としながら、「研究」「教育」「社会連携」「運営」の4領域それぞれにビジョンとアクションを据え、方向性を示しました。その中には「卒業生や支援者のネットワークを充実させ、大学との連携・協力を強化する。」として「卒業生に関わるアクションも盛り込まれました。社会連携本部卒業生部門（旧卒業生室）ではこの4年間、このビジョンを実現するべく多様な活動を展開し、成果を上げてきました。その中間報告と今後の展望についてお知らせします。

## 東京大学ビジョン2020&卒業生活動

### vision 1

## 研究

### 新たな価値創造に挑む 学術の戦略的展開

#### action 1

国際的に卓越した研究拠点の拡充・創設  
人文社会科学分野のさらなる活性化  
学術の多様性を支える基盤の強化  
研究時間の確保と教育研究活動の質向上  
研究者雇用制度改革

### vision 2

## 教育

### 基礎力の涵養と 「知のプロフェッショナル」の育成

#### action 2

学部教育改革の推進  
国際感覚を鍛える教育の充実  
国際卓越大学院の創設  
附置研究所等の教育機能の活用  
学生の多様性拡大  
教養教育のさらなる充実  
東京大学独自の教育システムの世界発信  
学生の主体的活動の支援

### vision 3

## 社会連携

### 21世紀の地球社会における 公共性の構築

#### action 3

学術成果の社会への還元  
産学官民協働拠点の形成  
学術成果を活用した起業の促進  
国際広報の改善と強化  
教育機能の社会への展開

### vision 4

## 運営

### 複合的な「場」の充実と活性化

#### action 4

機動的な運営体制の確立  
基盤的な教育・研究経費の確保  
構成員の多様化による組織の活性化

### 卒業生・支援者ネットワークの充実

世界最高の教育研究を支える環境の整備  
3極構造を基盤とした連携の強化

## 複合的な「場」の充実と活性化

## 卒業生・支援者ネットワークの充実

## 財源

卒業生活動の  
財政基盤の強化

2016年度より校友会ニュースやホームカミングデイのパンフレットに有料広告掲載を開始。2019年度までの4年間で累計2000万円程度の収入。

2017年4月に校友会支援基金を創設。寄附実績：2920万円（2018年度末）



TFTに登録した卒業生たちに、大学や校友会の最新の動きをお伝えしています。

## 組織

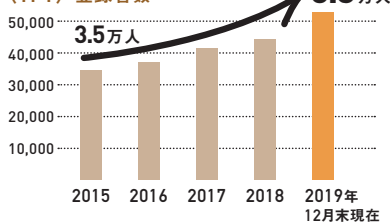
## 卒業生ネットワークの充実

校友会登録団体数

268 → 311

2015年3月末

2020年2月末

東京大学オンラインコミュニティ  
(TFT) 登録者数海外卒業生への  
アウトリーチ促進

2012年に「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業（グローバル30）」の海外大学共同利用事務所として東京大学インド事務所が開所。2014年10月からの「留学コーディネーター配置事業（インド）」、2018年4月からは「日本留学海外拠点連携推進事業」等により、インドのみならずインド周辺国からの留学生の獲得も大学のミッションに。留学生獲得の母体としても同窓会の価値が再認識され、戦略的にアジア諸国の同窓会設立を支援。2016年カンボジア、マレーシア、ネパール、2017年ラオス、スリランカ、2018年バングラデシュ等に海外卒業生主体、または海外卒業生を交えた同窓会を新規設立、再結成、または既存同窓会登録を促しました。



2016年10月 東京大学ネパール同窓会設立式。今では同窓会メンバーが、ネパールからの優秀な留学生の獲得に尽力しています。

## 貢献

卒業生から学生への  
支援プログラムの拡充

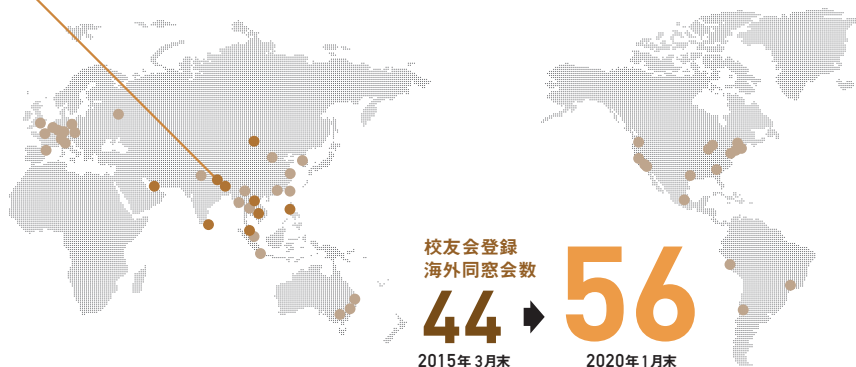
2017年4月に「校友会サポーター」制度を新設。サポーターたちは様々なプログラムに関わっています。2019年4月の「入学生歓迎パーティ」（駒場）には入学生187名、サポーター10名が参加し、新入生の不安に応えました。キャリアサポート室と連携して実施している「面接演習講座」や、在学生、若手卒業生向けのキャリア・デザイン講座（OB対談やグループワークを通じてキャリアを自分でデザインするための気づきを得るもの）など多様なプログラムを実施しています。今後も大学と連動して学生支援をさらに拡大する予定です。



校友会サポーターが面接官を務める「面接演習講座」を開始。本番さながらの緊張感。様々な視点からアドバイスがもらえた、自分の棚卸しができた、など、参加学生から好評です。



2019年4月 入学生歓迎パーティ。駒場の先生や上級生、校友会サポーターの話に熱心に聞き入る入学生たち。





# 東京大学を支える 東京大学とつながる

## Pickup 1

教養学部の先生×卒業生

### 入学生歓迎パーティー



駒場キャンパス内で軽食とドリンクを用意し、新生活に不安を抱える新入生を招待しています。協力に応じてくださった教養学部の先生や前期課程2年の先輩たち、若手卒業生が授業や学生生活、進学選択についての質問に答えます。新入生にとっては科類や出身地を超えて交流できる時間です。通常の授業とはひと味違い、先生方が直接対応してくださる貴重な機会となっています。

## Pickup 2

学生たちの健康をサポート

### 朝食半額キャンペーン



教養前期課程では1限が8:30から始まります。馴れない一人暮らしがスタートした学生や、通学時間の都合で慌ただしく登校する学生など、朝食を摂らずに授業に出席するケースが少なくありません。健康的な食生活を習慣づけてもらうため、校友会では朝食メニューの合計額の半額を負担、学生生活を支援するキャンペーンを実施しています。しっかりと朝食をとり、生活リズムを整えてもらうのが狙いです。

## Pickup 5

留学中の先輩がメンターの役割を

### 海外大学院留学説明会



世界中から優秀な学生が集まる海外大学院を選択した卒業生が、志願から渡航・就学のプロセスに始まり、現地での生活、文化、金銭事情までを語ります。文系理系を問わず、さまざまなロールモデルが登場。ネットでリアルタイムに質問できるサービスも有効に使い、学生の質問に素早く答えます。回を重ねるにつれ、説明会に参加して留学した学生がメンターとして説明会のパネリストになるなど、さらなる活動の広がりが見られます。

## Pickup 6

大学の今を知り、理解を深めてもらう日

### 東京大学ホームカミングデー



年に1度、卒業生たちがキャンパスに集う日です。2002年に記念すべき第1回を開催し、2004年の大学法人元年を機に、大学主催となりました。当日は講演会、音楽イベント、交流会、多数の模擬店で賑わいます。2020年は10月17日土曜日に開催します。「東京大学の今」を知っていただき、大学への理解を深めていただく日でもあります。ぜひ知識交流の場として活用してください。

私たちは卒業生や学生が社会に貢献する事を応援し、卒業生と大学、また卒業生同士をつなぐことを理念として活動しています。近年は、卒業生自身が大学に積極的に関わられるプラットフォーム作り、学生がキャンパスライフを豊かに送るためのサポートや、同窓会に呼びかけて学生が体験的に学ぶ機会を提供してもらおうプログラムの拡大にチカラを入れています。その活動の様子をお知らせします。

### Pickup 3

学生のリアルな体験を後押し

## 体験活動プログラム



本学では、次世代を担う学部学生に、「社会貢献」「国際交流」「就労体験」「地域体験」「フィールドワーク体験」などを柱にした体験活動の機会を提供しています。プログラムを通じて新しい考え方や多様な生活様式を学び、新たな発想力を身につけるためには国内外の卒業生の提案が不可欠です。毎年、多くの同窓会メンバーがオリジナリティ溢れる学びの機会を提供しています。

### Pickup 4

本番に備えて自信につなげる

## 卒業生による面接演習



学内のキャリアサポート室と連携して、就活生を対象に実施しています。志望企業を想定した、部長・役員クラスの面接を設定。事前にエントリーシートを提出してもらい、面接終了後には個別に良かった点、改善点など具体的なアドバイスをします。普段は接する事が少ない年齢層の面接官からフィードバックを受けた就活生からは、「自分を振り返る材料になった」「知らなかった側面を指摘いただき糧になった」と感謝の声が寄せられます。

### Pickup 7

キャリアやスキルを大学に還元

## 東大校友会サポーター制度



サポーターは現在の職種、年齢に関係なく、自分のスキルや知見を活用して在学生や大学に貢献したいという趣旨のもとに集まった卒業生たちです。キャリアや進路をざっくばらんに相談できるイベント、キャリアプランやライフプランを一緒に考えるなど、各層のニーズに応えるべく活動中です。(写真は就活生とサポーターの業種別キャリアイベント) ※登録制

募集中



## 東大校友会サポーター 「随時募集」

ご自身のスキル、キャリアを活用して  
大学に貢献していただけますか？

登録いただいた卒業生には、  
校友会スタッフが面談させていただきます。  
なおご応募はTFT登録が前提となっています。

お申し込み 東大アラムナイサイトをご覧ください。

# 同窓会だより 同窓会活動・設立レポート

## 01 東京大学 スリランカ事務所開所式

東京大学はこのほどスリランカに事務所を開所し、2020年1月16日(木)17時からコロomboの中心にあるThe Lakshman Kadirgamar Instituteにおいて開所式を開催しました。東京大学は文部科学省の「日本留学海外拠点連携推進事業(南西アジア)」を受託し、この地域からの優秀な留学生の拡大を目指し、日本の大学を代表して活動しています。その拠点としてインドのデリーに続き、スリランカのコロomboに拠点を設けることにしました。開所式には杉山明在スリランカ日本大使、高等教育省などスリランカ政府の代表、スリランカの主要な大学や高校の関係者、日本語教育機関、JAGAAS(スリランカ日本留学生同窓会)、本学からは相原博昭大学執行役、関村直人副学長、国際戦略課の関係者など150名が参加。

パネルディスカッションでは東京大学スリランカ同窓会会長のDr. Indika Palihakkara(ルフナ大学)がパネリストとして日本留学の魅力や語った他、スリランカの各大学にいる本学同窓生が参加しました。2017年に発足した東京大学スリランカ同窓会のネットワークの上に、両国の学生交流・研究交流が発展した事は喜ばしく、今後一層の関係強化を期待しています。[国際戦略課アドバイザー 森 和博 70年経卒]



東京大学スリランカ事務所長(左から3人目)と開所式の登壇者。

## 02 二宮正人ブラジル赤門会 会長が令和元年秋 瑞宝中綬章を受賞

ブラジル赤門会会長でサンパウロ大学教授である二宮正人氏(81年法学政治学博)が、令和元年秋の叙勲で瑞宝中綬章を受賞しました。受賞理由は「日伯友好親善功勞、在留邦人への福祉功勞」によるものです。二宮氏は、美智子上皇后がご自身の読書の思い出を語った「橋をかける」などのポルトガル語訳などを手がけ、皇族がブラジルを訪問される際は通訳として同行されるなど、皇室との関わりが深い方です。ブラジル赤門会は、2013年11月に東大フォーラムがブラジルで開催された際に設立された同窓会ですが、氏は在住

の卒業生を取りまとめる中心的な役割でした。  
[事務局記]



同窓会設立式で司会を務める二宮正人氏。

## 03 社会連携本部担当理事と 懇親会を開催

淡星会(シンガポール)では、2020年1月20日、ジャパン・クリエイティブ・センター(JCC)10周年記念行事のプロトタイプ展に参加するため訪星していた藤井輝夫東京大学理事・副学長をお迎えし、Mercure Singapore BugisのRoyale レストランで懇親会を開催しました。参加者は三島龍東京大学渉外部門長も含めた23名。懇親会ではシンガポールの人口問題などが議論されたほか、学生時代の共通の話題などで盛り上がりました。またプロトタイプ展にも淡星会会員が多数参加し、大盛況でした。[小池 哲男 94年経卒]



藤井理事を囲んで懇親会。

## 04 英国赤門会

英国赤門学友会は、1月24日(金)、ロンドンを訪問された五神総長との朝食会を行い、長嶺駐英国全権大使ほか理事等7名が参加しました。持続可能な社会の成長を促すために東京大学が果たすべき役割、その1つの手段としての産学連携の強化、英米の大学経営の特徴、ダボス会議の様子、Brexitの動向など多くの話題で盛り上がりました。また、午後にビル・エモット氏が主催した総長の講演を多くの赤門会員が聴講し、新たな時代への社会変革を促すプラットフォームとしての大学の役割を学びました。[荒木 繁 95年法卒]

五神総長を囲んで朝食会。



## 05 東京大学 ネパール同窓会総会・勉強会

2019年11月23日、ネパールのカトマンズで東京大学ネパール同窓会の総会および勉強会が開催されました。総会は卒業生20名で行われ、勉強会にはネパール大使館の秋山ゆり子一等書記官、卒業生部門の友吉ディレクターも加わりました。勉強会では卒業生のPrakash Shakya氏(14年医修)による「日本への移民の健康」に関する発表やDeepak K.C.氏(07年新領域修)による「気候変動シナリオとネパールへの影響: GLOF(氷河湖決壊洪水)リスク削減」に関する発表などが行われました。秋山一等書記官は卒業生活動の重要性について語られ、大使館も同窓会活動を応援している旨述べられました。最後に、Dipendra Gautam氏(18年医修)がデザインした本同窓会のウェブサイトのお披露目がありました。なお、本同窓会は、翌11月24日からの3日間、聖ザビエル、ディア・ウォークの各高校、トリブヴァン工科大学、カトマンズ大学の計4校における日本留学説明会の開催に全面協力しました。セミナーには計500名の学生および教職員が参加しました。  
[Ram Prasad Bhandari 97年工修]

## 新規登録団体のご紹介

### 航空宇宙会

学部・学科同窓会  
会長 石戸 利典さん(78工修)

### バイオエンジニアリング専攻同窓会

学部・学科同窓会  
幹事 中川 桂一さん(14工博)

### GCLS(Global Creative Leaders Society)

職域特定分野同窓会  
理事 大野 昴紀さん(18医)

### 56SII・IIIクラス会(S56年理II・III組高梨組)

駒場クラス会  
幹事 高梨 泰彦さん(85理)

## 登録団体数 311 (2020年2月末現在)

学部等同窓会	48
地域別同窓会	54
海外同窓会	56
運動会	29
文化サークル	18
職域特定分野同窓会	44
クラス会(専門課程同期会)	12
クラス会(駒場)	50

第19回

# 東京大学 ホームカミングデイのご案内

2020年10月17日(土)

2002年に「第1回東京大学ホームカミングデイ」を開催してから、今年で19回目となります。本年も、東京大学がビジョンを実現するために「今、どんなことをしているのか」をご理解いただくとともに、「持続可能」「新たな価値創造」「知のプロフェッショナル」をキーワードにしたイベントを多数企画いたします。

東京大学の知の蓄積と還元を実感するとともに、大学が目指す未来予想図に参画してください。みなさまのご来場をお待ちしています。

※当日のイベント等につきましては、7月以降に順次ご案内します。詳細はwebサイトでご確認ください。



今年も学部学科を超えた同窓会を開催します。対象年は以下の方々です。20周年学年会は初の同期会です！



## 20周年学年会

[対象] 1996年入学/2000年卒業/00年院入学/  
02年医学・農学部獣医学専攻卒業  
[時間・場所] 7月以降にWebサイトでご案内します。



## 30周年学年会

[対象] 1986年入学/90年卒業/90年院入学/  
92年医学・農学部獣医学専攻卒業  
[時間・場所] 7月以降にWebサイトでご案内します。



## 40周年学年会

[対象] 1976年入学/80年卒業/80年院入学/  
82年医学部卒業  
[時間・場所] 7月以降にWebサイトでご案内します。

## 2019年ホームカミングデイ特別フォーラムのご報告

昨年10月19日(土)第18回東京大学ホームカミングデイを本郷キャンパス、駒場キャンパスで同日開催。特別フォーラムはAIをキーワードに、松尾豊教授が「AIの可能性と限界」養老孟司東大名誉教授が「AI時代を生き抜く処方箋」と題してそれぞれ講演しました。

松尾教授は人工知能、ディープラーニング(深層学習)の研究者の観点から、「ディープラーニングの変革による日本企業への影響」「AIとヒトとのインタラクションという意味で、AIへの理解を深め、よりよい形を作っていく姿勢をとり続けなくてはいけない」などと語りました。また、養老氏は「情報化社会においてはデータだけが必要となっている」「例えば病院の診察で医師は検査結果(データ)だけを見ており、目の前のヒトは見えていない。AIが生み出す脳化社会においてヒトは不要なノイズとなってしまふ」「理屈のないものを大事にする感覚、差異の感覚を大事にすることがAIが生み出す脳化社会への処方箋である」などと語りました。

また、当日、校友会登録団体が企画・主催したイベント数は30プログラムでした。ご協力いただきありがとうございました。



# 2019 東大 Award

2019年度の本学における各賞受賞者をご紹介します。



文化勲章

## 佐々木 毅

名誉教授

(大学院法学政治学研究所・法学部)  
永年にわたって、政治学及び政治学史の教育・研究に努め、日本における政治学研究の第一人者として、多大な貢献を果たしたことによる。



文化勲章

## 甘利 俊一

名誉教授

(大学院工学系研究所・工学部)  
数理工学の観点から世界を先導する研究成果を上げた。特に、数理脳科学と情報幾何学が顕著な業績として有名。



日本学士院賞  
恩賜賞

## 藤田 誠

教授

(大学院工学系研究所・工学部)  
学術上優れた論文、研究業績に対する授賞。研究題目 結晶スポンジ法—X線構造解析の革新と分子科学技術への展開—



日本学士院賞

## 永嶺 謙忠

名誉教授

(理学系研究所・理学部)  
学術上優れた論文、研究業績に対する授賞。研究題目 ミュオンラジオグラフィの開拓と大規模構造体の非破壊的研究



日本学士院賞

## 藤野 陽三

名誉教授

(工学系研究所・工学部)  
学術上特に優れた論文、著書その他の研究業績に対する授賞。研究題目 長大な構造物の振動現象の解明と制御



日本学士院賞

## 磯貝 明

教授

(大学院農学生命科学研究科)  
学術上特に優れた論文、著書その他の研究業績に対する授賞。研究題目 植物由来の完全分散化セルロースナノファイバーに関する研究



日本学士院賞

## 高柳 広

教授

(大学院医学系研究所・医学部)  
学術上特に優れた論文、著書その他の研究業績に対する授賞。研究題目 Osteoimmunologyの研究



紫綬褒章(春)

## 畠山 昌則

教授

(大学院医学系研究所・医学部)  
医学教育ならびに分子腫瘍学・感染腫瘍学の研究に尽力し、基礎医学研究の進展と若手研究者の育成に大きく貢献したことによる。



紫綬褒章(春)

Photo (c) J.C. Carbonne

## 隈 研吾

教授

(工学系研究所・工学部)  
2020年の東京五輪パラリンピックの主会場となる国立競技場をはじめ、国内外の建築実績、作品への評価による。



紫綬褒章(春)

## 佐藤 隆一郎

教授

(大学院農学生命科学研究科・農学部)  
学外の薬学(国内)・医学(海外)領域において、コレステロール代謝に関する研究への評価による。



紫綬褒章(秋)

## 横山 茂之

名誉教授

(大学院理学研究科・理学部)  
医学的に重要な細胞膜受容体(上皮成長因子受容体、アディポネクチン受容体等)の構造生物学研究を展開、日本の構造生物学を牽引した業績が認められたことによる。



紫綬褒章(秋)

## 一條 秀憲

教授

(大学院薬学系研究所・薬学部)  
長年にわたり細胞レベルのストレス応答の研究に尽力。特にファミリー分子の解析を手がかりに、生体が様々なストレスに対してどのように感知・情報処理・応答を行なっているかを発見。



紫綬褒章(秋)

## 橋本 和仁

教授

(未来ビジョン研究センター)  
金属酸化物の光物性を中心とした基礎化学およびその産業応用において世界を先導する実績を築くなど、日本の科学技術分野を牽引。



紫綬褒章(秋)

## 大栗 博司

機構長

(カブリ数物連携宇宙研究機構)  
素粒子論、特に重力を含む究極の統一理論の候補である超弦理論の世界的権威。世界トップレベル研究拠点プログラムで高い評価を受ける。



日本学士院会員

## 榎 裕之

名誉教授

(生産技術研究所)  
ナノエレクトロニクスとナノフォトニクスの研究を先導し、固体物理学と電子工学の新領域を開いて、世界的に若手研究者の育成と学術の推進に大きく貢献したことによる。

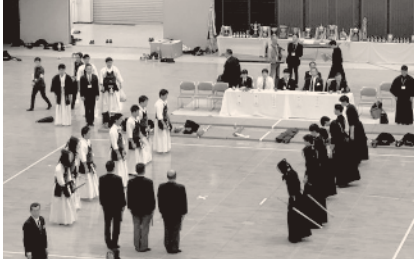
# 2019 東大 Sport Award

2019年度に顕著な成績をあげた運動会をご紹介します。協力：(一財)東京大学運動会



東大運動会マスコット  
イチ公  
(旧制一高が名前の由来)  
全運動部を応援しています。

## 剣道部



男子は10年ぶり、女子は初の全日本大会出場を果たす。全日本大会のベスト16は昭和以来の好成績であった。「今後も精進してまいります」

## レスリング部



東日本学生秋季選手権の新人戦フリースタイルB74kg級にて、有川将史選手が2試合にテクニカルフォール勝ちして優勝。全国大会ベスト16に入る。

## 航空部



全日本学生グライダー競技大会で団体3位、及び個人で3位、フェアプレー賞を受賞。

## ラクロス部

男子



関東学生リーグ準優勝。さらに世界大会で日本代表として戦う全国強化指定選手に3名が選出された。

女子



2部昇格がかかった「2部3部入れ替え戦」にて勝利。関東学生リーグ戦2部昇格を果たした。

## 少林寺拳法部



関東学生大会において入賞多数、その他複数の大会において上位多数の成績を誇る。

## 競技ダンス部



2連続目のグランドスラム（年6回の大会すべてで団体優勝）連覇達成。冬の全日本大会団体優勝。

## 陸上運動部



阿部飛雄馬選手が第96回箱根駅伝関東学生連合チーム入り。往路10区を走る。

## B&W(ボディビル&ウェイトリフティング)部



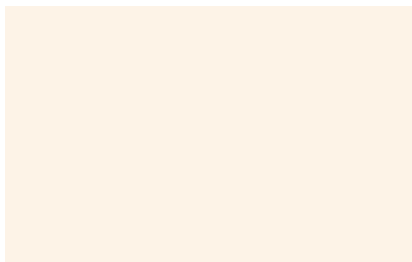
久恒選手が世界クラシックパワーリフティング選手権大会で世界3位入賞、ジュニア部門トータル世界新記録更新、一般日本新記録更新。

## 躰道部



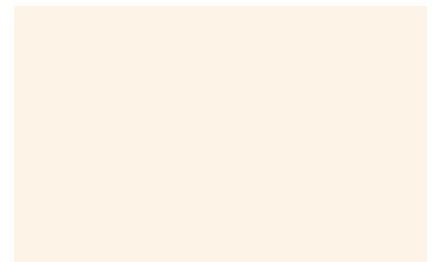
全国学生躰道優勝大会総合優勝、前人未踏の12連覇。

## フィールドホッケー部男子



創部以来初の2年連続関東リーグ1部で勝利、七大戦無失点かつ全勝優勝を果たす。「悲願である2年連続での一部校での勝利を達成しました」

## バスケットボール部女子



関東リーグ戦4部ブロック1位。チームメイト全員で勝ち取ったブロック1位。「今シーズンこそ3部昇格を目指して頑張ります」

# 東京大学へのご寄附に関心のある方へ

東京大学は1877年の開学以来、自由な発想を起点として学問の礎を築き、学術研究の最先端を切り拓き、総合大学として各分野の研究で第一線を担ってきただけでなく、国際的な卓越性も維持してきました。次世代に向けたプロジェクトをはじめ、Webサイトより各プロジェクトをご覧いただき、ご意向に沿った形でご支援くださいますよう、お願いいたします。



## 女性が活躍できる環境の整備に UTokyo 女性活躍支援基金

女性が活躍できる環境整備や改革に取り組んでいます。本基金は女子学生向け住まい支援や女性教員スタートアップ研究費支援・スキルアップ支援などに活用させていただきます。

## インクルーシブな社会の実現をめざして 未来社会協創 (FSI基金)

東京大学の学術研究は多岐にわたりますが、その全てが必ずしも最初から注目されるわけではありません。ノーベル賞を受賞する研究も、20年、30年とコツコツと積み上げた結果です。FSI基金は、より良い未来につながる様々な研究やプロジェクトに活用させていただきます。

## 東大校友会へ 東京大学校友会支援基金

在学生や若手卒業生を応援、ライフプランをサポートするプログラムなど、校友会の活動をさらに充実、活発にするためにご協力ください。



5万円以上のご寄付（個人）にはバッジを進呈。



100万円以上のご寄付（個人）にはペーパーウェイトを贈呈。

東京大学校友会支援基金寄附者芳名 (2019年8月16日～2020年2月15日までの申し込み順)

高忠之殿、石渡晋太郎殿、箕浦真殿、森田高志殿、高見澤磨殿、和仁亮裕殿、皆見春生殿、前川耀男殿、上野竹彦殿、★高橋照美殿、★内古重彰殿、★匿名、江上洋一殿、太夫智也殿、匿名、★片山進亮殿、匿名、★浦部晶夫殿、★飛松一樹殿、石川千果殿、梶原京子殿、★長谷川隆寛殿、★匿名、大川顕央殿、★竹田駿輔殿、★小林利彦殿、梶木喜美子殿、★花房基弘殿、★八十川紀夫殿、★稲葉弘文殿、★北山隆臣殿、★佐々木孝一殿、★服部彰殿、水谷浩二殿、★太田邦史殿、★吉田博志殿、★阿久津大成殿

東京大学校友会支援基金にご支援いただいた方のうち、芳名録記載を希望された方。[氏名の記載を希望しない]にチェックされた方を匿名として記載。

★校友会支援基金に5万円以上のご寄附をされた個人



東京大学基金検索

支援プロジェクト  
一覧にアクセス

東京大学校友会支援基金のお問い合わせ

東京大学校友会事務局  
Tel : 03-5841-1227  
(9:00～12:00、13:00～16:00 土日祝除く)

ご寄附全般のお問い合わせ

東京大学基金事務局  
Tel : 03-5841-1217  
(9:00～12:00、13:00～17:00 土日祝除く)

## 掲載広告インデックス

三井不動産レジデンシャル	7P
学士会館	13P
本郷赤門前霊園	15P
セントラル警備保障	17P
プライダル	表3
JR東日本	表4

編集発行 / 社会連携本部  
藤井輝夫 / 社会連携本部長  
アートディレクション / 細山田光宣  
デザイン / 河村織恵  
表紙イラスト / 門坂 流  
印刷 / 勝美印刷  
発行 / 2020年3月10日

## 東京大学校友会事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号  
TEL: 03-5841-1227  
Email: utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp  
URL: https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/index.html